

医・薬・薬連携を目的として配布した冊子 「目薬 Q&A-正しい目薬の使い方-」の評価

杉本文子*、池田博昭*、塚本秀利**、佐藤英治、野間英孝**、
三嶋 弘**、木平健治*

日本病院薬剤師会雑誌, 41 (8), 997-1000 (2005)

Evaluation of Pamphlet Describing the Cooperation Between Ophthalmologists and Pharmacists

Ayako Sugimoto*, Hiroaki Ikeda*, Hidetoshi Tsukamoto**, Eiji Sato,
Hidetaka Noma**, Hiromu K Mishima**, and Kenji Kihira*

抄録 患者への点眼指導を地域の医療機関と連携するために、広島大学病院（以下、本院）の眼科医師および薬剤師が共同で作成した冊子「目薬 Q&A-正しい目薬の使い方-」を、眼科の関連病院および地域の保険薬局に配布した。また、冊子の点眼指導の内容と保険薬局の実際の差異を明らかにするために調査を行った。その結果、冊子を配布する前の点眼液の説明および点眼方法の指導は、本院と半数の保険薬局間で異なっていた。しかし、保険薬局の薬剤師は点眼指導に冊子を用いると回答したことから、冊子を配布する前の状況を改善できると考えられた。冊子を地域の保険薬局に配布することで、点眼指導の医・薬・薬連携が可能になった。また、保険薬局の薬剤師の点眼指導は、1番目に目薬の作用および名前、2番目に用法、3番目に点眼方法、4番目に副作用の説明を行う傾向が判明した。

* Department of Pharmaceutical Services, Hiroshima University Hospital

広島大学病院薬剤部

** Department of Ophthalmology and Visual Sciences, Hiroshimas University Hospital

広島大学大学院医歯薬総合研究科視覚病態学